

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第35週 (ARIのみ第34週) の発生動向

□ トピックス

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

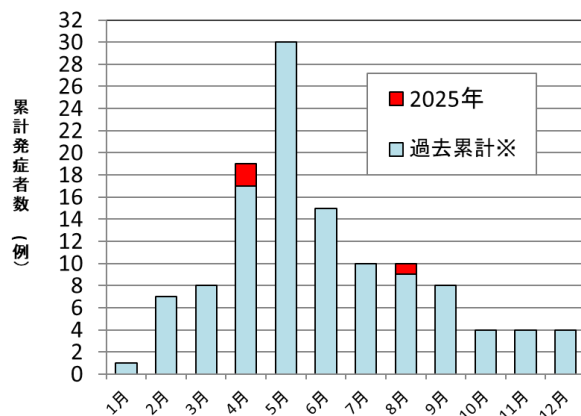
(全数報告の感染症)

都城保健所管内から報告があった。患者は60歳代の女性で、刺し口があった。県内での報告は、累計120例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
1	1	2	5
60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
27	45	32	7

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2024年まで

・日本紅斑熱(全数報告の感染症)

日本紅斑熱の報告が宮崎市保健所管内で1例あった。第35週までの診断週による累計報告数が22例で、過去10年間では報告が最も多かった2018年・2021年(19例)の報告数を超え、最多となっている。

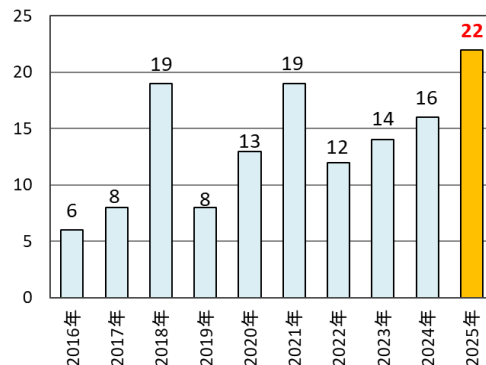
2025年(第1週～第35週) 保健所別・年齢別報告数

保健所	報告数
宮崎市	14
都城	2
延岡	2
日南	2
小林	1
高鍋	1
高千穂	0
日向	0
中央	0

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
1	0	0	2
60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
7	8	4	0

※20歳未満の報告はなかった。

診断週による年別累計報告数の推移(2016年～2025年※)



※2025年は第1週～第35週まで

□ 全数報告の感染症（35 週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1 例、日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症：梅毒 2 例、百日咳 15 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	小林	60歳代	女	肺結核	その他
		日向	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	延岡	60歳代	女	—	腹痛、血便、O157(VT1.VT2)
4類	重症熱性血小板減少 症候群	都城	60歳代	女	—	発熱、頭痛、腹痛、嘔吐、食欲不振、 全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、 刺し口
	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	女	—	発疹、肝機能異常
5類	梅毒	都城	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
		延岡	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群				症状
				5～9歳	10歳代	20歳代	60歳代	
5類	百日咳	宮崎市	6例	2	2	1	1	持続する咳、夜間の咳き込み、 呼吸苦、ウーブ、嘔吐、肺炎
		延岡	3例	1	1		1	
		日南	1例		1			
		高鍋	2例	2				
		中央	3例		3			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 35 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 776 人(定点当たり 38.9)で、前週比 105%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は R S ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。また、第 34 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,363 人(定点当たり 48.7)で、前週比 111%と増加した。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 499 人(17.8)で、前週比 85%と減少した。年齢群別は 20 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

【伝染性紅斑】

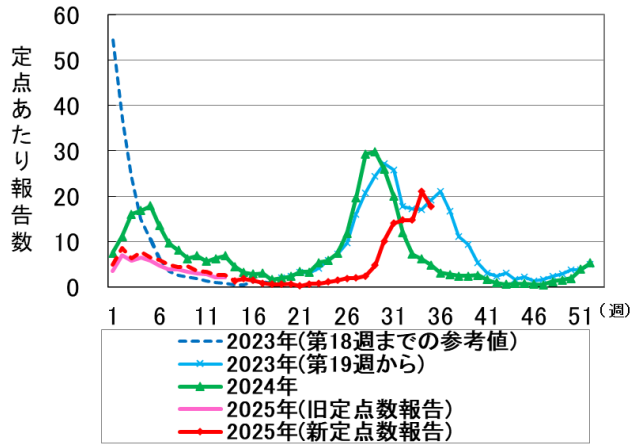
報告数は 33 人(2.2)で、前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.4)の約 5.7 倍であった。年齢群別は 5 歳から 7 歳が全体の約 6 割を占めた。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 34 人(2.3)で、前週比 110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の 1.8 倍であった。年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

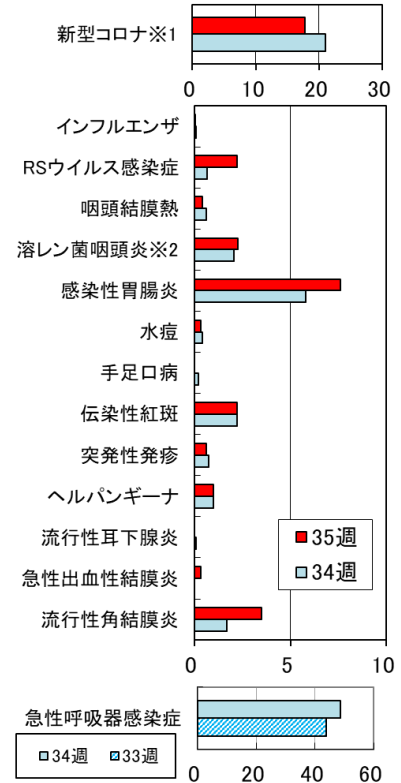
新型コロナウイルス感染症 発生状況



※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週
～第 18 週分のデータは、定点医療機関から
の報告数をもとに算出した参考値

《前週との比較》

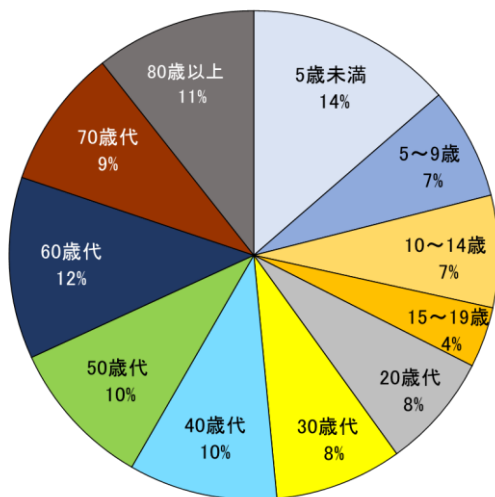


定点あたり報告数

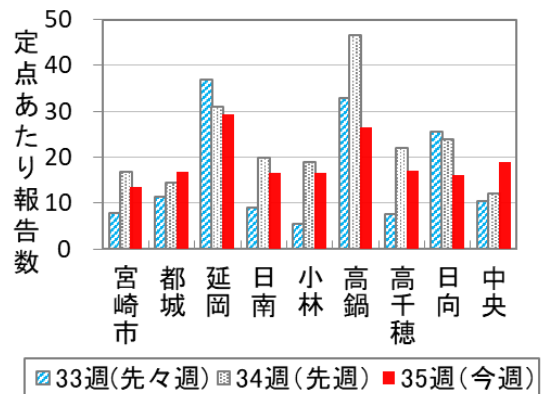
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

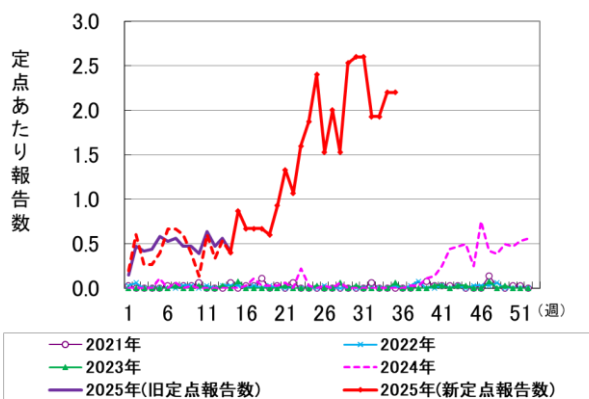
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ (第 35 週)



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移 (3 週分)

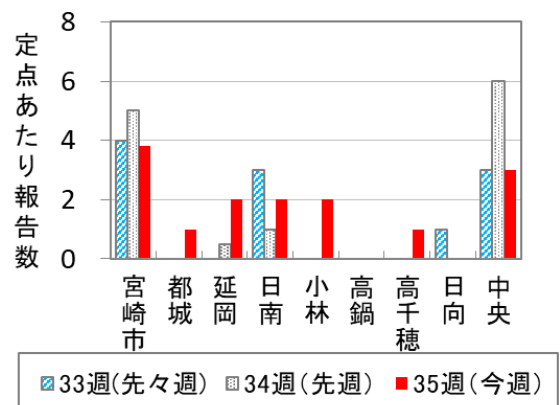


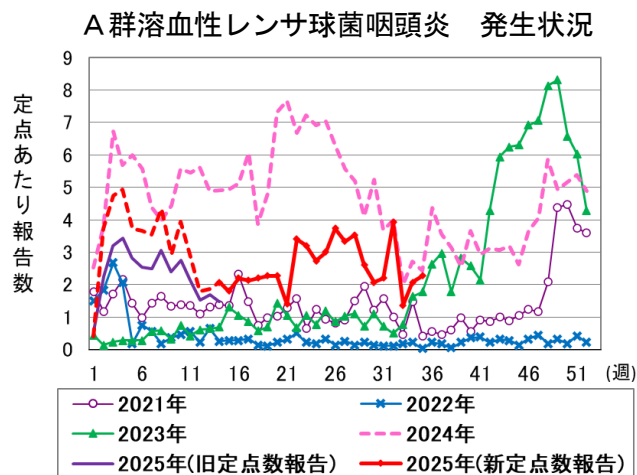
伝染性紅斑 発生状況



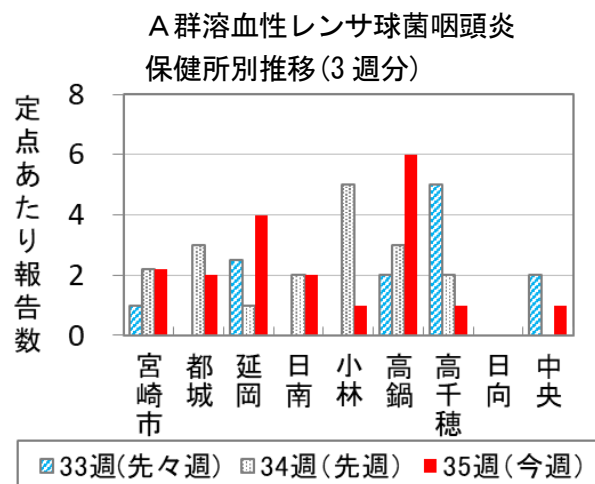
※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 保健所別推移 (3 週分)





※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 4 例(定点当たり 0.6)で、宮崎市(2 例)、日南(1 例)、高鍋(1 例)保健所から報告があった。年齢は 5～9 歳が 2 例、10～14 歳が 2 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(3.8)
都城	急性出血性結膜炎(1.0)
延岡	伝染性紅斑(2.0)
日南	伝染性紅斑(2.0)
小林	感染性胃腸炎(33.0)、伝染性紅斑(2.0)
高鍋	水痘(1.0)
高千穂	なし
日向	水痘(2.0)
中央	伝染性紅斑(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)
- ・急性出血性結膜炎(1)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025 年第 34 週:8 月 18 日～8 月 24 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			6
RSウイルス	A型		1
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		1
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			6
受付検体数			15

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※¹ 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※² 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 9 月 1 日までに検出分)

★細菌

同 定 細 菌 名	年 齢	性 別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同 定 日
EHEC (O157:H7 VT1,2)	10歳代	男	2025.08.01	発熱、下痢、血便	便	2025.08.19

★ウイルス

同定ウイルス名	年 齢	性 別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Dengue virus 2	60歳代	男	2025.07.10	ウイルス感染症疑い(蚊媒介)、 関節痛、下痢、38℃	全血 血清	2025.08.19
Human parvo virus B19	30歳代	女	2025.07.08	風疹疑い、38.8℃、発疹、リンパ節腫脹	血清	2025.08.29
Human parvo virus B19	10歳代	男	2025.07.22	手足口病、38.5℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2025.08.27
Parainfluenza virus 4	0～4歳	女	2025.07.22	突発性発疹、39.5℃、紅斑	咽頭ぬぐい液	2025.08.27

🇯🇵 全国 2025 年第 34 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	229 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	175 例	腸チフス	2 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	チクングニア熱	3 例	デング熱	5 例	日本紅斑熱	22 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	59 例	レプトスピラ症	3 例
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	16 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16 例	後天性免疫不全症候群	11 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症	29 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	218 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	6 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	2762 例	風しん	2 例
	麻しん	8 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 141%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患はマイコプラズマ肺炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 139%と増加した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 33, 275 人(8. 7)で前週比 139%と増加した。宮崎県(21. 0)、鹿児島県(16. 8)、長崎県(14. 8)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 3 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 4, 809 人(2. 1)で前週比 178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0. 3)の約 6. 8 倍であった。山形県(6. 8)、大分県(5. 9)、佐賀県(4. 6)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

疾病名		第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	1						1			
	定点当り	0.07	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	589	499	121	67	88	33	33	53	34	32	38
	定点当り	21.04	17.82	13.44	16.75	29.33	16.50	16.50	26.50	17.00	16.00	19.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	33	4	8	8	1		9			3
	定点当り	0.67	2.20	0.80	4.00	4.00	1.00	0.00	9.00	0.00	0.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	9	6	6								
	定点当り	0.60	0.40	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	31	34	11	4	8	2	1	6	1		1
	定点当り	2.07	2.27	2.20	2.00	4.00	2.00	1.00	6.00	1.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	87	114	22	17	5	8	33	3	2	18	6
	定点当り	5.80	7.60	4.40	8.50	2.50	8.00	33.00	3.00	2.00	18.00	6.00
水 痘	報告数	6	5	2					1		2	
	定点当り	0.40	0.33	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00
手足口病	報告数	3										
	定点当り	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	33	33	19	2	4	2	2		1		3
	定点当り	2.20	2.20	3.80	1.00	2.00	2.00	2.00	0.00	1.00	0.00	3.00
突発性発しん	報告数	11	9	5		1	1	1			1	
	定点当り	0.73	0.60	1.00	0.00	0.50	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	15	15	5		2	1	3			4	
	定点当り	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	3.00	0.00	0.00	4.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数		2		2							
	定点当り	0.00	0.33	0.00	1.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	21	6	13	2						
	定点当り	1.67	3.50	2.00	6.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	4	4	2			1		1			
	定点当り	0.57	0.57	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第34週 (08月18日～08月24日)												
		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数	1185	1363	331	95	204	126	85	153	97	162	110
	定点当り	43.89	48.68	36.78	23.75	68.00	63.00	42.50	76.50	48.50	81.00	55.00

34週、35週 ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7
33週 ARI定点:27

● 全数把握対象疾患累積報告数 (2025年 第1週 ～35週 保健所受理分)

2類感染症	結核	86例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例(1)
	つつが虫病	8例	デング熱	2例	日本紅斑熱	22例(1)
	レジオネラ症	5例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13例	後天性免疫不全症候群	3例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例	水痘(入院例)	3例
	梅毒	94例(2)	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	2例
	百日咳	1,321例(15)				